

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 恵愛会

令和4年度 社会福祉法人恵愛会事業報告

【経営方針】

社会・地域における福祉の発展と充実を使命とし、地域福祉ニーズに対応した事業に取り組み、公益性・公共性・信頼性の高い経営を実践しました。

【評議員会、理事会開催状況について】

○評議員会 令和4年6月11日 (1回開催)

○理事会 令和4年5月20日、11月18日(書面にて決議)、令和5年3月25日
(3回開催)

【法人事業の概要】

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の流行の影響により、地域、家族との交流、利用者の自立した自由な生活に大きく制限をかけることを余儀なくされました。また、法人内で2度のクラスターの発生により、利用者及び家族に対し不安な状況を強いることとなりましたが、各施設間の連携を強化し、稼働管理の徹底と効率化を進め事業の安定した遂行に努めました。

人材育成についてはオンライン等による外部研修を強化し、計画的研修に努めて資質向上を図りました。人材確保については厳しい状況が続いてはいますが、広報の充実を図り、引き続き計画的な採用活動を進めています。また、職員の定着促進のために処遇改善のほか、新規入職者に対する研修・指導方法の見直しを行い、早期離職の防止に取り組み一定の成果を得ています。

社会福祉事業運営については、障害者福祉事業・介護保険事業の適正な運営を行いました。個々のニーズへのよりきめ細やかな対応が求められる中で、支援計画・ケアプラン等の充実を図りました。公益事業については、地域共生社会の実現の一助として居宅介護支援事業及びひとりぐらし老人住宅の指定管理事業を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、法人全体として事業の稼働率の低下が顕著に見られ、昨年引き続き経営状況が不安定となっています。稼働率の向上を目指すとともに、事業運営の更なる最適化・効率化が必要となっています。

また、防災・感染対策においては、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を重点的に行うとともに、災害や各種感染症発生時の事業継続計画（BCP）の運用訓練や演習を行い、実効性の確立を目指しました。自然災害時の地域の福祉避難所として、おおさ苑地域交流ホームの受入れ整備・備蓄品の確保・専門職員の配置など対策を行っています。

インカムの導入をはじめとするICTの推進、施設設備の修繕・更新を計画的に進め、施設内外の環境整備を行い、安心して生活できる施設の保全に努めました。

1. 障害者支援施設 大佐荘

【運営方針】

1. 新型コロナウイルス感染防止については、昨年に引き続き対策マニュアルの周知・徹底を図り予防に努めましたが、3月末より利用者、職員に陽性者が発生しクラスターとなりました。嘱託医師、保健所等と連携し、BCP（業務継続計画）に沿った対応を行い感染拡大防止に努めました。最終的に利用者21名、職員9名が陽性となりましたが、2週間程度でクラスターを終息することができました。
2. 嘱託医師をはじめ多職種連携のもと、日々の観察を充実し異常の早期発見治療に努めました。連携体制の向上により、クラスター時にも迅速な対応を行うことができました。
3. 利用者のニーズに沿った個別支援計画書を策定し、随時見直しを図り生きがいとQOL向上のための生活支援に努めました。コロナ禍で行動が制限される中、利用者一人ひとりの希望が実現できるよう支援を行いました。
4. 利用者個々の栄養マネジメントについては、健康状態や体重の変動に配慮し、適切な栄養管理に基づいた食事の提供を実施しました。外出が困難ななかでも季節感が感じられるよう使用する食材や献立に配慮しました。
5. 身体機能の維持改善が図れるよう利用者個々の能力に合わせたリハビリテーション実施計画書を策定し、リハビリの個別性の向上を図りました。また、身体機能の低下が顕著な利用者に対し、県の身体障害者等巡回更生相談を利用し車いすの更新を行いました。
6. 利用者や家族と常に対話を持ちつつ、希望やニーズに沿った支援を心がけました。今年度も、苦情受付第三者委員の聞き取りは見合わせ、苦情報告を行いました。
7. オンライン研修やOJTにより職員の倫理教育を行うことで虐待防止に努めました。ヒヤリハットに対し早期に検討を行うことで重大な事故の予防を行いました。また、安全・安心な生活のため、施設内外の安全点検と補修・改善を随時行いました。
8. オンライン研修を全員が受講できるよう受講環境を整備し、意欲向上に努めました。また、新任職員及び異動職員に対する業務内研修制度（OJT制度）の見直しを行い、人材育成体制を整備しました。
9. 毎月開催される業務改善委員会を中心に、より効率的な介護、支援の方法を検討・研究し業務上の口スを削減するとともに職員の意欲向上に努めました。
10. 関係法令の改正による就業規則等の見直しを行い、職員の適切な福利厚生及び安全衛生管理・休暇制度・勤務体制を見直し、働きがいのある職場環境づくりに努めました。
11. 新型コロナウイルス感染防止のため、地域との交流は行うことができませんでした。
12. 火災及び土砂災害に対する避難訓練を実施し、反省点を考慮してBCP（業務継続計画）の見直しを行いました。
13. 施設内外の環境整備、特に感染症予防の消毒作業に努め、利用者にとって快適な環境であるよう努めました。

【別表】

(1) 修繕工事及び固定資産物品購入状況

	品 目	金 額
固定資産 物品購入	食器消毒保管庫〈ホシザキ中国〉	534,600円
	自動手指洗淨消毒器〈ホシザキ中国〉	286,000円
	フィジオパックウォーマー〈テイ・エス・エル・ツツ〉	474,232円
	ハイローストレッチャー〈テイ・エス・エル・ツツ〉	274,560円
	GHP取替及び設置工事〈田中実業・初スワフ〉	4,985,200円
修繕工事	厨房水道配管保温改修工事〈中電工〉	385,000円
	ストレッチャーキャスター修理〈テイ・エス・エル・ツツ〉	411,840円
	職員便所便器更新工事〈中電工〉	418,000円
	ベーパライザー更新工事〈田中実業〉	1,876,930円
	中庭漏水修理工事〈中電工〉	489,500円

(2) 介護実習受入状況

受入日	実習名	受入人数
12月5日～12月17日	新見公立大学介護福祉実習Ⅲ	3
1月16日～1月28日	新見公立大学介護福祉実習Ⅲ	3

(3) 年間行事

月日	行 事	実施場所	利用者			家族	職員
			施設 利用	短期 利用	生活 介護		
4/19	花見会	食堂・デイルーム	54	1	1	0	30
5/10	端午の節句	食堂・デイルーム	47	0	0	0	24
6/7	スポーツの日	食堂・デイルーム	33	0	0	0	15
7/22	納涼祭	食堂・デイルーム	58	1	1	0	42
5/13 ～ 10/25	ショッピング	津山方面 真庭方面 新見方面 倉敷方面	10 20 1 6	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	10 20 2 6
7/1 ～ 7/15	リクエスト外出	新見方面 真庭方面 矢掛方面	2 2 1	0 0 0	0 0 0	0 0 0	2 2 2
11/11	ふれあい祭り	食堂・デイルーム	56	1	1	0	38
12/17	クリスマス会	食堂・デイルーム	56	1	0	0	17
1/14	新年会	食堂・デイルーム	49	0	1	0	29
3/11	ひな祭り	食堂・デイルーム	47	0	1	0	24
合 計			442	4	5	0	263

(4) 防災訓練・防災教育実施状況

月	訓練種別	内 容
4	防災教育	土砂災害対策訓練の実施概要説明
5	防災教育	業者による防災設備点検
	避難訓練	おおさ苑と合同、土砂災害対策訓練
6	防災教育	屋内消火栓と屋外消火栓の使い方について

7	防災教育	消火器の取扱要領
8	防災教育	新見防災ハザードマップの確認
	設備点検	防災設備自主点検
9	避難訓練	おおさ苑と合同、夜間火災発生を想定した総合訓練
10	防災教育	通報・消火・避難訓練実施マニュアルについて
	設備点検	業者による防災設備点検
11	防災教育	非常放送設備・ホットラインの取扱い方について

※ 1 2 月以降は人員配置状況が厳しく実施できていません。

(5) ボランティアの受け入れ状況

今年度も新型コロナウイルス感染症流行に伴い受け入れはありませんでした。

(6) 施設外研修

月/日	研修名・開催地
4/8, 9,	介護支援専門員実務研修(きらめきプラザ)
4/15, 23	介護支援専門員実務研修(きらめきプラザ)
5/14	介護支援専門員実務研修(きらめきプラザ)
7/11, 12	相談支援従業者初任者研修(旭川荘研修センター)
8/23	相談支援従業者初任者研修(旭川荘研修センター)
8/25, 26	防火・防災管理講習(岡山商工会議所)
9/29, 30	相談支援従業者初任者研修(旭川荘研修センター)
1/28, 19	サービス管理責任者実践研修(旭川荘研修センター)
3/15	令和4年度指定障害福祉サービス事業者等に対する集団指導(おかやま西川原プラザ)
3/22	備中圏域指定相談支援事業者に対する集団指導(くらしき健康福祉プラザ)

(7) 施設内研修

今年度も全職員がジョブメドレーアカデミーによるオンライン研修を実施しました。

研修内容
待遇に関する研修
プライバシーの保護の取り組みに関する研修
倫理及び法令遵守に関する研修
虐待防止に関する研修
事故発生又は再発防止に関する研修
緊急時の対応に関する研修
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修
身体拘束排除のための取り組みに関する研修
非常災害時の対応に関する研修
ターミナルケアに関する研修

(8) 利用者状況（令和5年3月31日現在）

○障害者手帳等級

性別	等級						合計
	1級	2級	3級	4級	5級	無	
男	24	7	2	0	0	1	34
女	15	3	1	0	0	2	21
合計	39	10	3	0	0	3	55

○障害支援区分

性別	区分				合計
	3	4	5	6	
男	0	4	13	17	34
女	2	4	4	11	21
合計	2	8	17	28	55

○年齢別構成

種類 性別	~19	20~ 29	30~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 69	70~ 79	80~	合計	平均年齢
男	1	0	2	2	9	12	8	0	34	61.1
女	0	0	0	3	2	5	9	2	21	66.7
合計	1	0	2	5	11	17	17	2	55	63.2

最高	最低
78	19
83	43

○在所期間状況

種類 性別	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	合計	1人当り平均 在所期間
男	2	4	1	10	1	8	8	34	15年6ヵ月
女	0	1	0	2	3	5	10	21	20年3ヵ月
合計	2	5	1	12	4	13	18	55	17年4ヵ月

最高期間 40年4ヵ月
最低期間 10ヵ月

(9) 通院・入院

○通院件数：523件 ○入院件数：40件（延べ1, 141日、実人員24人）

(10) 入所・退所

○入所：2人（男性2人） ○退所：6人（男性4人・女性2人）

2. 特別養護老人ホームおおさ苑

【運営方針】

1. 個人情報保護と守秘義務の遵守に努めました。
2. 本人及び家族の意向を基にケアプランを作成し、利用者の立場に立ったケアに努めました。
3. 全職員に定期的に虐待防止・身体拘束適正化についての研修を行うことで、虐待ゼロと身体拘束ゼロを維持することができました。
4. 各クラブ活動において、寝たきりの方でも参加でき、触れ合いが保て、生きがいを感じられるような活動を検討し行いました。
5. 食事の際に声掛けを行うことで、安全に美味しく食べられる食事の提供に努め、食べる喜びを維持しました。
6. 利用者一人ひとりの能力にあった機能訓練や生活リハビリを行い運動機能向上・認知症予防に努めました。
7. 多職種連携については、新型コロナウイルスクラスター発生時、訓練を行っていたことにより円滑に対応することができ、嘱託医師を含む多職種連携と適切なゾーニングにより個々のニーズに沿った適切なケアを実施することが出来ました。
8. リスクマネジメント委員会や、感染症対策委員会を随時行うことで感染症が発生した場合の体制を整備し、安定した事業継続が出来ました。
9. 面会制限中であっても、家族連絡表や電話による家族への細やかな情報提供、窓越し面会・オンライン面会等を活用し、家族との触れ合いが保てるように支援しました。
10. 定期的に各種委員会、施設内研修会、オンライン研修を実施し、人材育成を図ることが出来ました。
11. 苦情相談については、感染防止の観点から第三者委員の直接対面による苦情相談は出来ませんでした。相談員を中心とする職員が日常での困りごと等随時相談に乗り、第三者委員に報告し、解決に努めました。また、サービスアンケートを実施し、頂いた意見をもとにサービスの向上を図りました。
12. 待機者状況の把握を随時行い、退所があった場合にスムーズな入所に努め、稼働率の向上に努めました。
13. 職員福利厚生については、今年度も全職員を対象に健康診断及び生活習慣病健診・腰痛検診・ストレスチェック等を行い心身の健康を維持するとともに、働きやすい職場環境づくりに努めました。
14. 地域住民との交流や地域行事への参加及びボランティアの受け入れは新型コロナウイルス感染防止の観点から行うことが出来ませんでした。近隣大学等の実習の受け入れについては感染状況を考慮しながら受け入れを行い、地域貢献に努めました。
15. 防災活動については、停電等に備え発電機使用のマニュアルを整備し、昼夜を問わず職員が誰でも緊急時に使用できるよう努めました。
16. 非常災害時に地域の避難拠点となれるように、備蓄食及び防災用備品を随時整備・点検し準備しました。

【別表】

(1) 修繕工事及び固定資産物品購入状況

	品 目	金 額
固定資産 物品購入	介護浴槽用車椅子〔特養〕〈ティーエスアルフレッサ〉	1,167,320円
	物置〔特養〕〈ダイキ商工〉	398,200円
	レーザープリンター〔居宅〕〈中村商事〉	128,000円
	低床介護用ベッド中古1台〔特養〕〈オカセイ〉	182,116円
	低床介護用ベッド中古1台〔GH〕〈オカセイ〉	182,116円
	クリアトークカム10台〔特養〕〈中電工〉	2,640,000円
修繕工事	給湯器配管修理〔特養〕〈中電工〉	374,000円
	居室空調機修理〔GH〕〈中電工〉	214,500円
	屋上防水改修〔通所〕〈中電工〉	6,930,000円
	浴室給湯配管改修〔特養〕〈中電工〉	253,000円
	給水ポンプユニット修理〔特養〕〈中電工〉	308,000円
	玄関庇鉄骨塗装改修〔特養〕〈片岡工業〉	209,000円
	居室クロス張替え〔特養〕〈ウエキ〉	235,180円
	西棟廊下空調機修理〔特養〕〈中電工〉	264,000円

(2) 介護実習受入状況

学 校 名	期 間	人数	延べ人数
新見公立大学	2/27(月)~3/11(土)	2名	2名
合 計		2名	2名

(3) 年間行事

月	日	行 事	実施場所	利用者		家族	職員
				施設利用	短期利用		
4	13	花見会	食堂・苑周辺	46	7	0	17
5	18	端午の節句	食堂・苑庭	18	6	0	6
7	7	七夕会	食堂・居室	44	7	0	17
8	24	夏祭り	交流ホーム	49	11	0	9
9	7	敬老会	交流ホーム・食堂ホール	36	11	0	24
10	19	ふれあい祭り	交流ホーム・食堂ホール	47	9	0	17
11	中止	風船バレー大会					
12	14	クリスマス会	食堂ホール・居室	47	8	0	13
1	11	新年祝賀会	食堂ホール	49	10	0	20
2	8	節分祭	食堂ホール・居室	45	10	0	17
3	15	ひな祭り会	食堂ホール・居室	47	9	0	2
合 計				428	88	0	142

(4) ボランティアの受け入れ状況

新型コロナウイルス感染症の流行に伴いボランティアの受け入れはできませんでした。

(5) 施設外研修

月/日	研修名・開催地
9/4	認知症対応型サービス事業開設者研修（岡山きらめきプラザ）
11/7	EPA 学習 1 年目候補者集合研修（TKP ガーデンシティ岡山）

(6) 施設内研修

月/日	研修内容
4/22	高齢者虐待防止研修
5/31	施設内感染対策について
6/27	認知症の方と関わる原則について
7/27	リスクマネジメントと介護事故の防止
8/30	身体拘束廃止について
9/28	高齢者虐待防止研修
10/14	ノロウイルスについて
11/20	インフルエンザ・結核について
12/26	認知症ケアについて
1/21	介護事故防止について
2/24	身体拘束廃止について
3/29	ターミナルケアについて

※今年度も、全職員がジョブメドレーアカデミーによるオンライン研修を受講しました。

オンライン研修内容
接遇に関する研修
認知症及び認知症ケアに関する研修
プライバシーの保護の取り組みに関する研修
倫理及び法令遵守に関する研修
事故発生又は再発防止に関する研修
緊急時の対応に関する研修
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修
身体拘束排除のための取り組みに関する研修
非常災害時の対応に関する研修
ターミナルケアに関する研修
高齢者虐待防止に関する研修
介護予防に関する研修

(7) 利用者状況（令和 5 年 3 月 3 1 日現在）

	利用者人数	平均年齢
男性	8 名	85.5 歳
女性	41 名	90.1 歳
合 計	49 名	89.4 歳

(8) 介護度別人数（令和 5 年 3 月 3 1 日現在）

要介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	平 均
人 数	2	0	9	10	28	49	4.26

(9) 自立度別人数 (令和5年3月31日現在)

認知症自立度	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
人数	1	1	1	3	8	3	14	18	49
日常生活自立度		J-2	A-1	A-2	B-1	B-2	C-1	C-2	合計
人数		0	3	4	5	13	4	18	49

(10) 防災訓練・防災教育実施状況

月	訓練種別	内 容
4	防災教育	「高齢者施設における消防訓練」について
5	設備点検	業者による防災設備点検
	避難訓練	大佐荘と合同、夜間を想定した土砂災害対策避難訓練
6	防災教育	「水害・土砂災害」について
7	防災教育	「防災情報・避難訓練」について
8	防災教育	「地震」について
9	防災教育	「火災避難訓練」について
	避難訓練	大佐荘と合同、夜間地震発生後に火災発生を想定した総合訓練
10	設備点検	業者による防災設備点検
11	防災教育	「冬期の災害に備える」について
	避難訓練	デイサービスと合同、デイサービス給湯室を火元と想定した火災避難訓練
12	防災教育	「避難所での高齢者介護」について
1	防災教育	「災害時のケアマネジャーの行動」について
2	防災教育	「(風水害・地震)災害時の対応」について
3	防災教育	「介護施設での防災の心構えと対応」について

3. 短期入所生活介護事業所

【運営方針】

1. 昨年 11 月初旬施設内で新型コロナウイルス感染症クラスターが発生し、やむ負えずショートステイ利用者の受け入れ制限を行ったことで年間を通じて稼働率が低調となりましたが長期利用・緊急時のご利用者のニーズには対応できました。
2. 利用者に退屈な思いをさせないため、日常的に関わりを持つよう努めました。また、短期入所会議にて業務改善の話し合いを随時行うことで、多くのムダな業務を見直し効率的な業務運営に努めました。
3. 利用者のアセスメントと情報収集を強化し、安心安全介護に努めましたが、3 件の転倒事故がありました。事故対応については関係機関に随時報告するとともに誠心誠意対応しました。
4. 施設内で新型コロナウイルスのクラスター発生時に利用中だった利用者については、利用期間延長及び多職種連携を行い、本人及び家族の意向に沿った対応に努めました。
5. 新規及び長期間利用のなかった利用者に対しても担当ケアマネジャーを通じて、可能な限り状態の把握に努め、異常の早期発見に努めました。
6. 利用者的人格人権を尊重し、安心して利用できるサービスを提供しました。
7. オンライン研修を個別に行い高齢者虐待防止と身体拘束について学び資質向上とケアの適正化に努めました。また在宅にてつなぎ服着用等の身体拘束のある利用者に対しても短期入所の利用時にはそれを外すことで、身体拘束廃止を行うことが出来ました。
8. 介護支援専門員等の多職種連携により、在宅での生活も踏まえた身体機能の維持向上のため、日常生活の中での機能低下予防に努めました。
9. 特養介護員・看護師等とも連携し、情報を共有したうえで統一した支援を行いました。
10. 特養と共通の防災マニュアルに従い訓練を実施し、短期入所利用者も参加することで防災意識を高め、安心・安全なサービスを提供しました。
11. 感染症予防の観点から今年度も職員が苦情受付を実施し第三者委員に報告し、意見を頂きました。居室内の環境整備について苦情がありましたが、早期に対応行いました。また、サービスアンケートを行いサービスの質の向上に努めました。

【別表】

(1) 月別利用件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	35	33	31	34	41	40	38	8	33	36	40	42	411
介護予防	1	1	1	1	1	2	1	0	1	1	1	4	5
合計	36	34	32	35	42	42	39	8	34	37	41	46	416

(2) 月別利用日数

(単位：日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	234	243	249	263	291	293	284	148	217	227	264	285	2998
介護予防	2	2	2	2	2	5	2	0	2	2	2	16	39
合計	236	245	251	265	293	298	286	148	219	229	266	301	3037

※平均稼働率 69.3% (前年度 68.5%) $3037 \text{日} \div (12 \text{床} \times 365 \text{日}) \times 10$

(3) 施設内研修

今年度も全職員がジョブモデルアカデミーによるオンライン研修を受講しました。

オンライン研修内容
接遇に関する研修
認知症及び認知症ケアに関する研修
プライバシーの保護の取り組みに関する研修
倫理及び法令遵守に関する研修
事故発生又は再発防止に関する研修
緊急時の対応に関する研修
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修
身体拘束排除のための取り組みに関する研修
非常災害時の対応に関する研修
ターミナルケアに関する研修
高齢者虐待防止に関する研修
介護予防に関する研修

4. おおさ苑グループホーム

【運営方針】

1. 多職種が連携して、認知症の行動・心理症状（BPSD）に着目したチームケアを行い、生活リハビリやレクリエーション活動に力を入れることで心身の機能維持に努め、QOLの高い生活支援に努めました。
2. 利用者の人格・人権・プライバシーを尊重し、一人一人に寄り添うことで安心につながるケアサービスに努めました。
3. 利用者・家族に対し、サービスの内容を詳細に情報提供し、理解と協力を得ながら連携したサービスを行いました。コロナ禍で第三者苦情相談が実施できませんでしたが、サービスアンケートを行い、意見を反映したサービスに努めました。
4. 健康で安全な生活を維持する為、かかりつけ医・看護師等との連携の下、毎日の状態観察とバイタルチェック、服薬介助や通院支援を行い、異常の早期発見・早期治療に努めました。
5. 11月に職員の新型コロナ感染が確認され、感染時のマニュアルに沿った対応を行い、利用者への感染を防ぐ事が出来ました。定期的に職員への抗原検査を実施することで施設内への感染防止に努めました。新型コロナ感染予防と発生時に備え事業継続計画を作成し、感染対策の物品の備蓄やゾーニングのマニュアルを見直しました。
6. 各種リハビリの実施や生活の中での家事作業等を充実させる事で、利用者の心身の機能維持に努めると共に、生きがいのある生活が出来る様に努めました。
7. コロナ禍において、季節の行事や趣味・娯楽を実施して活動的で楽しみのある生活支援に努めました。
8. 身体拘束廃止や高齢者虐待防止については、身体拘束適正化研修を施設内研修とオンライン研修にて年2回行い、身体拘束適正化委員会を年4回実施しました。
9. リスクマネジメントについては、危険の予兆を見逃さず、事故ゼロを目標にヒヤリハットの分析を行い事故防止に努めましたが、3件の事故が発生しました。事故発生時には本人及び家族に誠心誠意対応しました。また事故を細かく分析・検証を行うことで再発防止に努めました。
10. コロナ禍においての地域交流が困難な状況の中、故郷訪問や市内ドライブに出かけました。また、市内開催の行事についても万全な感染予防を行うことで参加しました。また実習生の受入については、人数調整や実習時間など感染対策を図りながら、新見公立大学老年看護実習の受入を行いました。
11. 防災対策事業については、5月と10月に夜間想定避難訓練と自然災害訓練、土砂災害訓練を行い、職員・利用者の防災意識を高める事に努めました。
12. 職員研修事業については、外部研修にはオンラインで参加し、施設内研修においてもオンライン研修を充実させました。
13. 運営推進会議においては、コロナ禍のため感染防止の観点から、規模を縮小して行いました。6月、10月、2月の3回行い、委員の助言と評価を受けました。
14. コロナ禍で第三者苦情相談が実施できない中、サービスアンケートを行い意見を反映したサービスに努めました。今年度は外部評価実施対象外であったため、自己評価を行うことで課題達成計画を作成しました。

【別表】

(1) 年間行事

月	日	内 容	参加者				
			利用者	職員	家族	ボラ・他	合計
4	2	ドライブ	11	1	0	0	12
	6	花見会	18	12	0	0	30
	28	故郷訪問・市内ドライブ	2	2	0	0	4
5	18	春の遠足(親子孫水車)	17	9	0	0	26
	19	野菜の苗植え	13	12	0	0	25
6	3	GH 火災避難訓練&自然災害訓練	18	9	0	0	27
	6	故郷訪問・市内ドライブ	1	1	0	0	2
	8	花の寄せ植え	18	10	0	0	28
	22	室内運動会	17	9	0	0	26
7	3	夏祭り	18	10	0	0	28
8	3	故郷訪問(他 4、24、25 日)	18	6	0	0	24
9	14	敬老会	18	9	0	0	27
	16	芋ほり	17	4	0	0	21
10	12	ふれあい祭り	16	10	0	0	26
	18	火災避難&自然災害訓練	14	7	0	0	21
11	15	故郷訪問(他 16 日)	12	4	0	0	16
	18	室内運動会	17	5	0	0	22
12	14	クリスマス会	17	9	0	0	26
1	12	新年祝賀会	17	9	0	0	26
2	3	節分祭	18	11	0	0	29
3	8	ひな祭り	18	11	0	0	29
	27	塗り絵コンテスト	10	2	0	0	12
合 計			327	154	0	0	481

(2) 施設外研修

月/日	研修名・開催地
5/26・27	甲種防火管理新規講習(高梁総合文化会館)
7/23	ユマニチュードキャラバン交流(オンライン)
7/30、8/6	介護実技研修(岡山医療福祉専門学校)
9/27・28	認知症対応型サービス管理者研修(きらめきプラザ)
10/27	失禁・スキンケア研修(オンライン)
10/29	認知症介護基礎研修(オンライン)

(3) 施設内研修

月/日	研 修 名	参加者
4/28	高齢者虐待防止について	7
5/24	権利擁護について	8
6/23	身体拘束適正化研修	8
7/22	ユマニチュードについて	7
8/22	認知症ケアについて	7

9/26	便秘症について	6
10/25	身体拘束適正化研修	6
12/5	感染症について(11月分の研修)	6
12/23	身体拘束適正化研修	8
1/21	感染予防について	5
2/27	認知症について	10
3/26	高齢者虐待防止について	6
合 計		84

※今年度も全職員がジョブメドレーアカデミーによるオンライン研修を受講しました。

オンライン研修内容
接遇に関する研修
認知症及び認知症ケアに関する研修
プライバシーの保護の取り組みに関する研修
倫理及び法令遵守に関する研修
事故発生又は再発防止に関する研修
緊急時の対応に関する研修
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修
身体拘束排除のための取り組みに関する研修
非常災害時の対応に関する研修
ターミナルケアに関する研修
高齢者虐待防止に関する研修
介護予防に関する研修

(4) 防災訓練・防災教育実施状況

月	訓練種別	内 容
4	防災教育	「高齢者施設における消防訓練」について
5	設備点検	業者による防災設備点検
	避難訓練	大佐荘・おおさ苑と合同、夜間を想定した土砂災害対策避難訓練
6	防災教育	「水害・土砂災害」について
	避難訓練	まどか夜間火災発生を想定した避難訓練・非常食調理
7	防災教育	「防災情報・避難訓練」について
8	防災教育	「地震」について
9	防災教育	「火災避難訓練」について
	避難訓練	大佐荘・おおさ苑と合同、夜間地震発生後に火災発生を想定した総合訓練
10	設備点検	業者による防災設備点検
	避難訓練	なごみの家夜間土石流災害を想定した避難訓練
11	防災教育	「冬期の災害に備える」について
	避難訓練	デイサービスと合同、デイサービス給湯室を火元と想定した火災避難訓練
12	防災教育	「避難所での高齢者介護」について
1	防災教育	「災害時のケアマネジャーの行動」について
2	防災教育	「(風水害・地震)災害時の対応」について
3	防災教育	「介護施設での防災の心構えと対応」について

(5) 運営推進会議実施状況

月/日	会議内容
4/20	書面にて情報提供 事業実施状況報告、行事報告、令和4年度事業計画、身体拘束ゼロの維持の報告、職員体制報告
6/15	通常開催 事業実施状況報告、行事報告、平成3年度事業報告、消防計画、処遇事例報告
8/17	書面にて情報提供 事業実施状況報告、行事報告、処遇事例報告
10/19	通常開催 事業実施状況報告、行事報告、処遇事例報告、委員による評価、助言、意見交換
12/21	書面にて情報提供 事業実施状況報告、行事報告、処遇事例報告、委員による評価、助言、意見交換
2/15	通常開催 事業実施状況報告、行事報告、処遇事例報告、サービスアンケート集計結果報告

(6) 老年看護・介護実習受入状況

学校名	期日	延べ人数	担当者
新見公立大学看護科老年看護実習	4/28(木)	12人	福島和美 磯田明枝 竹本侑司
	5/9(月)		
	5/10(火)		
	6/23(木)	12人	
	6/27(月)		
	6/28(火)		
	9/21(水)	12人	
	9/26(月)		
	9/27(火)		
	11/2(水)	5人	
	11/7(月)中止		
	11/8(火)中止		

※9月27日(火)短時間実習にて補足実習として職員が新見公立大学へ出向き講義を行いました。
11月の実習では、実習生より陽性者の確認に伴い受け入れ中止となりました。また、11月9日(水)ZOOMによる講義を行いました。

(7) ボランティア受入状況

※新型コロナウイルス感染防止として受け入れを中止しました。

(8) 利用者状況 (令和5年3月31日現在)

介護度	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均	平均
なごみの家	0	1	5	1	2	0	2.4	2.8
まどか	0	1	1	3	3	1	3.2	

年齢(歳)	60代	70代	80代	90代	100代	平均年齢	最少年齢	最高年齢	平均
なごみの家	1	0	3	5	0	87.4	69	94	89.2
まどか	0	0	5	3	1	91	84	102	

(9) 通院状況

合計	378件
----	------

(10) 入院状況

合 計	6 件	延べ日数	98 日
-----	-----	------	------

(11) 入居・退居状況

退居	1 人	入居	1 人
----	-----	----	-----

(12) 面会・外出・外泊状況 ※リモート面会&窓越し面会も含む

面会	外出	外泊
145	0	0

5. グループホームわが家

令和3年10月26日より休止中のため報告事項なし

6. 小規模多機能ホームわきあいあい

【運営方針】

1. 利用者の人格・人権・プライバシーを尊重し、利用者にとって安心と生きがいがある温かいケアに努めました。
2. 利用者の家族介護者・医療機関・行政・民生委員・地域住民等との連携を図りながら一人ひとりの暮らしを支える為、個々のおかれている状況に応じた支援を行いました。
3. 利用者の心身の状況やニーズ、家族を取り巻く環境の変化を踏まえ、「通い」「訪問」「宿泊」の柔軟な受け入れを実施しました。介護・看護・医療職等の多職種共同に努め、随時計画の評価や見直しを行いました。
4. 苦情や相談を気軽に受けられる体制づくりを行い、随時意見や要望を伺いました。また、サービスアンケートを実施しサービスの質の向上に努めました。
5. 利用者の高齢化・認知機能低下など様々な状況に対応する為、かかりつけ医・家族・看護師との連携を図り心身の健康維持に努めました。また、脳トレ・レクリエーション・体操等の生活リハビリを行いました。長期入院や死亡、特養やグループホームへの入所などで、11件の契約終了がありました。
6. リスクマネジメントについては、自施設のヒヤリハットをその都度分析し、転倒や誤薬等の事故防止に努めましたが、転倒事故が1件と誤薬が1件ありました。また、他部署の事故報告やヒヤリハットを参考に事故防止に努めました。
7. 身体拘束適正化については、全職員に会議や研修を受講させ身体拘束廃止や高齢者虐待防止について意識づけを図り、身体拘束ゼロ・虐待ゼロを維持しました。
8. 非常災害時の体制については、関係機関への通報及び連絡体制を整備し、定期的に職員に周知しました。7月と3月に火災通報専用電話機を使用した避難訓練や地震を想定した訓練を実施したほか、様々な災害に関するDVDを視聴し、災害についての知識を深めました。また、非常時の食事提供体制を整え緊急時の対応と備蓄食の確保・管理を行いました。
9. 食事については、旬の食材や地域の食材、利用者嗜好を取り入れながら献立を立て、美味しく食べやすい料理が味わえるよう努めました。
10. 日常の健康管理については、毎日の健康チェックを行い、かかりつけ医や家族介護者・介護支援専門員等と連携し、異常の早期発見・早期治療と重症化予防に努めました。
11. 新型コロナウイルス感染症及びその他の感染症について、感染予防対策と発生時の訓練を実施し、安定した事業継続に努めました。
12. 軽作業や脳トレ・レクリエーションリハビリ等を通じて、ADLの低下予防に努めました。
13. 運営推進会議については、新型コロナウイルス感染状況を見ながら4回実施しました。外部評価も実施し、事業所自己評価を行い、課題の解決に向けた具体的な行動について委員の意見や助言を受けながらサービスの質の確保・向上に努めました。

【別表】

(1) 施設外研修

月/日	研修名・開催地
7/22	令和4年度 岡山県介護支援専門員更新研修(オンライン)
8/28・8/29・9/3・9/4	令和4年度 岡山県介護支援専門員更新研修(ターミナルスクエア)
7/23・7/24・8/6・8/7	令和4年度 認知症介護実践研修(実践者研修)
9/18	(岡山市ふれあい公社 北ふれあいセンター)
9/30~10/31	〃
10/1~12/31	令和4年度岡山県認定調査員新規研修(オンライン)
1/6・1/13	認知症介護基礎研修 e ラーニング (オンライン)
1/14	令和4年度岡山県介護支援専門員実務研修(オンライン)
1/26・2/3	〃
2/6・2/13	令和4年度岡山県介護支援専門員実務研修(きらめきプラザ)
2/24・3/1	令和4年度岡山県介護支援専門員実務研修(オンライン) 令和4年度岡山県介護支援専門員実務研修(きらめきプラザ)

(2) 施設内研修

今年度も全職員がジョブメドレーアカデミーによるオンライン研修を受講しました。

オンライン研修内容
接遇に関する研修
認知症及び認知症ケアに関する研修
プライバシーの保護の取り組みに関する研修
倫理及び法令遵守に関する研修
事故発生又は再発防止に関する研修
緊急時の対応に関する研修
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修
身体拘束排除のための取り組みに関する研修
非常災害時の対応に関する研修
ターミナルケアに関する研修
高齢者虐待防止に関する研修
介護予防に関する研修

(3) 年間行事

月	日	行 事	実施場所	利用者	職員	その他
4	8	花見会	唐松ヘドライブ わきあいあい交流サロン及び食堂 ホール	14	12	0
5	11	ドライブ	北房マルナカ店ヘショッピング わきあいあい交流サロン及び食堂 ホール	15	12	0
6	9	端午の節句	わきあいあい交流サロン及び食堂 ホール	13	12	0
7	4	七夕行事	わきあいあい食堂ホール及び交流 サロン	14	10	0
8	4	夏祭り	わきあいあい食堂ホール及び交流 サロン、玄関前	21	13	0

9	14	敬老会	わきあいあい食堂ホール及び交流サロン	23	14	0
10	11	秋祭り	わきあいあい食堂ホール及び交流サロン	12	9	0
11	11	ミニ運動会	わきあいあい食堂ホール及び交流サロン	15	11	0
12	5	クリスマス会	わきあいあい食堂ホール及び交流サロン	12	13	0
1	18	新年祝+賀会	わきあいあい食堂ホール及び交流サロン	15	12	0
2	3	節分行事	わきあいあい食堂ホール及び交流サロン	12	11	0
3	2	ひな祭り	わきあいあい食堂ホール及び交流サロン	14	11	0

(4) 運営推進会議実施状況 (年6回)

月/日	会議内容
4/27	事業実施状況報告・行事報告・行事予定・利用者状況及び処遇事例・令和4年度事業計画・職員体制・消防計画・食費の変更について (⇒グループホームわが家にて開催)
6/22	事業実施状況報告・行事報告・行事予定・利用者状況及び処遇事例・令和3年度事業報告・事故報告 (⇒グループホームわが家にて開催)
8/23	事業実施状況報告・行事報告・行事予定・利用者状況及び処遇事例について (⇒会議中止にて報告のみ)
10/26	事業実施状況報告・行事報告・行事予定・利用者状況及び処遇事例について (⇒グループホームわが家にて開催)
12/14	事業実施状況報告・行事報告・行事予定・利用者状況及び処遇事例について (⇒会議中止にて報告のみ)
2/22	事業実施状況報告・行事報告・行事予定・利用者状況及び処遇事例・令和4年度サービスアンケート集計結果報告、外部評価 (⇒グループホームわが家にて開催)

(5) 利用者状況 (令和5年3月31日現在)

	利用者人数	平均年齢
男性	5名	91.3歳
女性	20名	89.7歳
合計	25名	90.0歳

(6) 介護度別利用者数 (令和5年3月31日現在)

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	1	5	10	7	2	0	0	25

(7) 月間利用状況

月	通 い							通い	訪問	宿泊
	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5			
4	8	11	107	91	143	0	0	360	181	174
5	14	2	106	94	131	0	0	347	183	179
6	8	11	106	95	128	0	0	348	209	180
7	9	22	130	98	117	0	0	376	208	196
8	12	18	141	81	124	0	0	376	161	203

9	7	27	82	144	111	0	0	371	162	197
10	8	24	91	99	141	0	0	363	176	187
11	3	29	99	97	145	0	0	373	159	204
12	2	23	90	105	134	0	0	354	138	208
1	4	16	95	112	117	0	0	344	111	210
2	4	19	109	138	56	0	0	326	112	197
3	3	36	128	160	58	0	0	385	162	213
合計	82	238	1,284	1,314	1,405	0	0	4,323	1,962	2,348

(8) 防災訓練・防災教育実施状況

月	訓練種別	内 容
4	防災教育	「高齢者施設における消防訓練」について
5	設備点検	業者による防災設備点検
6	防災教育	「水害・土砂災害」について
7	防災教育	「防災情報・避難訓練」について
	避難訓練	地震発生後夜間脱衣室より火災発生を想定した避難訓練
8	防災教育	「地震」について
9	防災教育	「火災避難訓練」について
10	設備点検	業者による防災設備点検
11	防災教育	「冬期の災害に備える」について
12	防災教育	「避難所での高齢者介護」について
1	防災教育	「災害時のケアマネジャーの行動」について
2	防災教育	「(風水害・地震)災害時の対応」について
3	防災教育	「介護施設での防災の心構えと対応」について
	避難訓練	サロンより火災発生を想定した避難訓練・非常食の入替え

7. 通所介護事業所

【運営方針】

1. 利用者一人ひとりに寄り添うことで人権・人格・プライバシーを尊重した介護サービスの提供に努めました。
2. 利用者や家族のニーズに沿って、その人らしい生活が送れるよう個別援助計画を作成し満足度の高いサービスに努めました。
3. 新規利用者の迅速な受け入れや追加利用には柔軟に対応しましたが、新型コロナウイルス感染症対策のための受入れ制限や長期入院・ショートステイ利用など他事業所の利用も多く、稼働率が若干減少しました。
4. 利用者の人権・人格に関わる身体拘束の廃止や虐待防止については、オンライン研修や施設内研修を定期的に行うことにより個々の職員が知識を深め、適正化を図りました。
5. 苦情・要望・相談に対しては1件の苦情がありましたが迅速に対応し、早期解決に努める事が出来ました。
6. 今年度も利用者や家族に対してサービスアンケートを実施しました。また日々の送迎時の家族とのやり取りの中で要望や情報収集にも努め利用者・家族のニーズを知ることで満足度の高いサービスを行うように努めました。
7. 利用者や職員の新型コロナウイルス罹患の際には施設内感染対策委員会の方針に従い、業務継続と感染拡大防止に努めることができました。また業務継続計画（BCP）については、令和6年3月末までの完成を目指し見直しを行っています。
8. 職員の倫理観や法令遵守については、オンライン研修及び施設内研修を定期的に行っていく中で、それらの重要性について意識を高め、人材育成に努めることが出来ました。
9. 火災だけでなく土砂災害や地震・風水害等の自然災害に重点を置き、連絡体制及び災害対策強化のため訓練や防災教育を定期的実施し、個々の職員の防災意識を高めました。

【別表】

(1) 利用状況（月別）

単位：人

月	事業	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計	営業日数
4	41	25	48	193	152	46	37	21	563	23
5	34	18	40	203	137	34	35	20	521	23
6	36	18	49	236	149	44	29	24	585	24
7	31	19	56	223	140	44	32	23	568	23
8	31	16	52	216	140	43	33	22	553	25
9	30	21	47	247	151	37	32	22	587	23
10	42	32	52	220	134	42	41	16	579	24
11	23	6	40	203	127	37	29	13	479	22
12	27	19	42	241	125	44	34	17	549	24
1	26	24	31	214	118	42	51	18	524	23
2	27	22	35	221	119	36	46	14	520	22
3	30	26	48	233	146	37	46	11	577	25
計	378	246	540	2650	1638	486	445	221	6604	281

(2) 主なサービスの状況

利用者数	サービス内容			
合計	入浴	食事	健康チェック	日常生活動作訓練
6604	5030	6604	6604	6604

(3) 年間行事・会議

月/日	行事
4/2	お花見ドライブ（緩和デイ）
6/25	外出行事（緩和デイ）
7/27～8/2	夏祭り
8/20	バーベキュー（緩和デイ）
10/3～7	敬老会
12/5～10	クリスマス会
3/4	ケーキバイキング（緩和デイ）
3/6～10	ひな祭り

(4) 施設外研修

開催日	研修名・開催地
9/7～11/30	認知症介護実践研修（岡山市ウェルポートなださき）
11/10	認知症介護基礎研修（オンライン）

(5) 施設内研修

今年度も全職員がジョブメドレーアカデミーによるオンライン研修を受講しました

オンライン研修内容
介護予防に関する研修
高齢者虐待防止に関する研修
ターミナルケアに関する研修

非常災害時の対応に関する研修
身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修
緊急時の対応に関する研修
事故発生又は再発防止に関する研修
倫理及び法令遵守に関する研修
プライバシー保護の取り組みに関する研修
認知症及び認知症ケアに関する研修
接遇に関する研修

(6) 防災訓練・防災教育実施状況

月	訓練種別	訓練内容
5	防災避難訓練	・大佐荘・おおさ苑と合同夜間を想定した土砂災害対策避難訓練
7	防災避難訓練	・苑裏手からの土砂災害発生を想定した防災避難訓練
9	防災教育	・資料を基に豪雨災害についての教育を実施
11	火災避難訓練	・おおさ苑と合同デイサービス給湯室を火元と想定した火災避難訓練
2	災害避難訓練	・震度5強程度の地震発生を想定した防災避難訓練

8. 訪問介護事業所

【運営方針】

1. 人権擁護・プライバシー保護・守秘義務については、定期的に研修を重ねることで遵守しました。
2. 利用者・家族の意向を確認し、自立した日常生活が営むことができるようサービス提供を行いました。
3. 利用者・家族介護者のニーズをもとに自立支援を目指した訪問介護計画書を作成し、サービス提供を行いました。
4. 訪問記録については、日頃からの利用者・家族の心身の健康状態・生活状態を的確に把握し記録しました。
5. 感染症拡大防止のため施設外研修は自粛し施設内でのオンライン研修を行い訪問介護員としての資質向上に努めました。
6. 毎月の小地域ケア会議に参加し、地域包括支援センター・行政・居宅介護支援事業所等の関係機関と利用者のサービス内容・生活状況等の情報交換を行い、適正な対応に努めました。
7. 住み慣れた地域で安心して生活できるように、日常生活支援に取り組みました。
8. 日頃から利用者の健康状態把握を行い異常の早期発見に努めました。
9. アンケート調査では利用者・家族の要望・意見を基にサービスの質を評価し不安なく生活が送れるよう努めました。
10. 人権擁護・高齢者虐待防止の意識を高め、人権に配慮した適正なケアに努めました。
11. 利用者・職員の感染症発生時には感染対策委員会の決定に基づき業務継続と感染予防に努めました。業務継続計画（BCP）については、令和6年3月末までの完成を目指し見直しを行っています。

【別表】

(1) 訪問介護事業実績 (要介護)

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
訪問回数	105	89	106	117	141	145	135	122	125	103	103	131	1416

(2) 訪問介護総合事業実績 (要支援)

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
訪問回数	8	8	7	8	7	4	4	7	8	8	8	4	81

(3) 施設外研修

日付	研修名・開催地
5/28	岡山県ホームヘルパー連絡協議会総会・セミナー（オンライン）
7/14	医療・介護多職種連携研修会（オンライン）
8/6	岡山県ホームヘルパー連絡協議会セミナー（高梁総合福祉センター）
2/22	栄養士会主催・利用者さんに合わせた調理研修会（オンライン）

(4) 施設内研修

日付	内 容
4/22	倫理・法令遵守について
5/27	接遇について
6/27	熱中症処置について
7/26	ホームヘルパー業務における感染対策のポイント・正しい防護服の取り扱い（実技）
8/26	緊急時の対応
9/12	災害避難時のポイント・流れ
10/28	プライバシー保護について
11/22	高齢者虐待防止について
12/2	メンタルケアについて
2/20	事故再発防止について

※今年度も全職員がジョブメドレーアカデミーによるオンライン研修を受講しました

オンライン研修内容
接遇に関する研修
認知症及び認知症ケアに関する研修
プライバシーの保護の取り組みに関する研修
倫理及び法令遵守に関する研修
事故発生又は再発防止に関する研修
緊急時の対応に関する研修
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修
身体拘束排除のための取り組みに関する研修
非常災害時の対応に関する研修
ターミナルケアに関する研修
高齢者虐待防止に関する研修
介護予防に関する研修

9. 居宅介護支援事業所

【運営方針】

1. 介護に関する各種制度の情報提供や質の高いケアマネジメントが行えるよう積極的に研修へ参加し、利用者の状況に応じて必要な情報を提供しました。
2. 民生委員会（本年度5回）、ケア会議専門部会（本年度11回）を通じて、地域の協力者や行政機関等と積極的に連携を図りました。
3. 介護報酬改定の内容について利用者や家族が理解しやすいよう情報提供を行いました。
4. 災害等緊急時の対応マニュアルの見直しと連絡体制の確認を行いました。大雨警報が発令された際には、緊急連絡台帳を使用して状況確認を行い、利用者の安否確認を行いました。また業務継続計画（BCP）については、令和6年3月末までの作成完了を目指して見直しを行っています。
5. 新型コロナウイルス蔓延予防のため、介護者間の交流を行うことはできませんでした。その代替として、認知症啓発パンフレットを作成し、介護川柳に記念品を添えて配布しました。
6. ケアキャビネットの継続利用やタブレットを活用し、オンラインでの面会や情報共有を行いました。
7. 近隣のスーパー閉店に伴い、移動販売車の業者や運行について情報収集し、利用及び家族へ情報提供を行いました。

【別表】

（1）相談状況

方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	76	94	87	87	110	94	104	110	97	82	79	82	1,102
来所	1	4	1	4	4	5	0	1	3	0	2	2	27
訪問	171	170	182	169	157	177	159	171	166	159	186	178	2,045
巡回	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
出張	6	6	7	3	2	3	5	2	1	1	1	3	40
その他	3	4	6	4	0	6	2	1	2	6	1	1	36
合計	257	278	283	267	273	286	270	285	269	248	269	266	3,251

（2）認定調査実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施件数	4	3	5	8	7	7	5	9	7	8	7	7	77

（3）介護保険給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	117	106	107	108	109	114	111	115	114	110	110	111	1,332
介護予防	19	22	22	23	21	21	21	22	21	20	20	19	251
総合事業	6	6	8	9	10	8	7	7	8	9	10	12	100
合計	142	134	137	140	140	143	139	144	143	139	140	142	1,683

(4) 相談内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	244	259	265	256	258	254	253	279	246	235	257	251	3,057
住宅改修	15	21	12	5	5	11	20	8	5	2	12	3	119
介護用品・福祉機器	112	118	120	109	110	112	108	102	92	96	126	122	1,327
心理的問題	8	5	6	2	11	5	5	1	2	5	8	6	64
デイサービス	165	183	186	176	182	185	180	215	180	163	185	178	2,178
ショートステイ	53	69	85	66	87	70	78	99	90	70	95	105	967
ホームヘルパー	35	36	33	32	36	43	38	27	32	30	31	44	417
訪問看護	20	23	31	23	17	31	22	24	32	21	16	21	281
通所リハビリ	9	8	11	12	8	11	10	7	6	8	9	7	106
訪問リハビリ	2	5	1	6	6	3	6	6	3	4	4	4	50
介護老人福祉施設	3	3	2	11	3	1	2	1	8	9	2	7	52
介護老人保健施設	2	8	5	5	4	3	10	4	15	7	2	10	75
その他施設	6	7	16	5	7	4	6	7	15	11	7	6	97
介護保険外施設	0	1	1	0	4	4	0	1	0	2	2	0	15
年金・手当・経済	8	4	0	1	2	5	0	1	5	3	4	2	35
医療疾病問題	217	224	225	213	211	215	190	192	210	182	202	195	2,476
介護保険	18	19	21	5	13	17	18	7	7	15	9	9	158
介護予防	6	3	2	2	2	0	1	1	0	0	1	4	22
申請代行	11	7	12	10	7	10	6	6	6	4	8	8	95
その他	6	4	5	9	3	23	2	2	1	4	6	7	72
合計	940	1,007	1,039	948	976	1,007	955	990	955	871	986	989	11,663

(5) 施設外研修

開催日	研修名・開催地
5/20	居宅介護支援事業所管理者研修（オンライン）
5/31～7/13	岡山県介護支援専門員専門・更新研修（ターミナルスクエア・オンライン）
7/26	ケアマネジメント向上研修会（新見市役所南庁舎）
7/23～9/18	令和4年度 認知症介護実践研修（実践者研修）（岡山市北ふれあいセンター）
8/9	第3回ケアマネジャー大会（オンライン）
9/30～11/15	令和4年度 岡山県主任介護支援専門員更新研修（ターミナルスクエア・オンライン）
11/1	令和4年度 岡山県介護支援専門員実務研修見学実習指導者研修（きらめきプラザ）
11/5	ケアマネジメントセミナー（おかやま西川原プラザ）
12/1	BCP 策定フォローアップ研修（マービーふれあいセンター）
12/5	令和4年度 第2回主任ケアマネ委員会オンライン研修（オンライン）
12/9	ケアマネジメント向上研修会（新見市役所南庁舎）
12/14	令和4年度 高齢者虐待防止研修（オンライン）
12/16	ケアマネジメントセミナー（おかやま西川原プラザ）
2/6	令和4年度 第3回主任ケアマネ委員会オンライン研修（オンライン）

(6) 施設内研修

今年度も全職員がジョブモデルアカデミーによるオンライン研修を受講しました

オンライン研修内容
接遇に関する研修
認知症及び認知症ケアに関する研修
プライバシーの保護の取り組みに関する研修
倫理及び法令遵守に関する研修
事故発生又は再発防止に関する研修
緊急時の対応に関する研修
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修
身体拘束排除のための取り組みに関する研修
非常災害時の対応に関する研修
ターミナルケアに関する研修
高齢者虐待防止に関する研修
介護予防に関する研修

10. 新見市大佐ひとりぐらし老人共同生活住宅（桜田荘）

【運営方針】

1. 新見市との連携・情報共有を図り入居の希望・申込みがあれば即座に対応していますが定員6名に対し、5名の入居で1室のみ長期の空床となっています。今後も利用促進を図ります。
2. 新見市条例に基づき、入居者及び行政・管理者との密接な連携を行うことで、安全・安心な生活を支援しました。
3. 非常災害に備えて、緊急連絡網及びマニュアル等の整備を行うなどの緊急時対応の再確認を行いました。特に新見市の緊急通報事業については、入居者が緊急時には迷うことなく使用できるよう、機器の取扱いの説明を行いました。
4. 防災設備については、専門業者による定期点検・整備を行いました。入居者に対し消火器等の取扱い方法も随時説明し、非常時の対応方法について情報提供しました。
5. 入居者の安否確認については、管理員による毎日朝夕の声掛け安否確認と、施設の清掃・点検を継続的に行いました。
6. 入居者の要望・相談については、管理員を中心に随時声掛けを行うことで対応しました。
7. 新型コロナウイルス感染予防の観点から、近隣住民や小中学校との交流は行うことができませんでした。今後は、入居者の孤立化を防止するため見守り・声掛けの強化と入所者同士のコミュニケーションが図れるよう検討し、感染状況によっては徐々に屋外での交流活動を再開していきたいと思っております。

【入居者状況】 令和5年3月31日現在

- ・定員6名 入居現員5名
- ・男性3名
- ・女性2名